



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第421号

2019年9月9日

発行

日本共産党
八千代市議会議員団

八千代市大和田新田
312-5

習志野駐屯地がオスプレイの訓練場に

防衛省は、来年3月までに自衛隊木更津基地にオスプレイを暫定配備する旨、木更津市に説明しています。そもそもオスプレイの配備は、佐世保と連携するとして佐賀空港に配備するとされていたものです。



なぜ、突然木更津基地に「暫定」配備されることになったのか、暫定としているが、期間は明確に示されているのか、世界で最も事故率が高い危険なオスプレイを受け入れていいのかなどなど県民・市民から不安の声が寄せられています。

先月28日、日本共産党が防衛省に聞き取りを行った際、今後の対応について「木更津市の了解を得て、来年3月の暫定配備を進めたい」としながらも、暫定配備の期間については同市に求めているとしています。

木更津市が開いた住民説明会で防衛省は、暫定配備されたオスプレイに陸自習志野駐屯地の第一空てい団が搭乗することもありうる回答。ヒアリングで改めて確認したところ、「訓練は否定できない」とこたえています。

100万人が住む街での訓練飛行は絶対に認められない

陸自習志野駐屯地を囲む八千代市、習志野市、船橋市はおよそ100万人が住む人口密集地であり、ひとたび墜落事故等が起きれば、甚大な被害をもたらしかねません。

2018年9月時点で、10万時間当たりの事故率は、3.26で、2012年の事故率が1.93から見ても1.33ポイント上昇しています。飛行時間が増えれば、事故率は減るのが当たり前ののに、増えていることはいかに危険な飛行機かを示しています。

今でも駐屯地周辺では、実弾射撃訓練とともにCH47などのヘリコプターによる騒音に悩まされているのに、オスプレイによる騒音は、横田基地で直接経験した方によると、「腹をえぐられるような騒音」と言われているように、ある騒音測定では96dBを記録したとの報道もされています。

さらに、オスプレイの特性から、地面をたたきつけながら上昇することから、これまで以上に粉塵が舞い上がり、高津団地など近隣周辺への被害も避けられません。

市民を代表して市長は暫定配備反対の声を国に挙げよ

日本共産党は9月議会の代表質問で、オスプレイの習志野駐屯地への訓練飛行、木更津基地への暫定配備、佐賀空港への配備も含めて、日本の空のどこにもオスプレイはいらないというのは、国民共通の願いであり、20万近い市民の代表として、国に反対の意見書を挙げるよう求めました。

服部市長は、「船橋市、習志野市とも連携して対応したい」と述べるにとどまりました。